

技能実習生
47都道府県プロフィール（Ⅱ）

福井県

介護人材 タイで育成

2022/3/31

県 技術や日本語指導
毎年20人前後の就労目指す

東南アジアのタイで、県が将来の介護人材の育成に取り組んでいる。高齢化対策を急ぐ県と、若者の就労機会を増やしたいタイの思惑が一致した。県は現地の学校に講師を派遣して生徒に日本語や介護技術を教え、卒業後に技能実習生として県内の介護施設などに受け入れる計画だ。

22日には、蓑輪克宏課長らが日本での就労を目指す複数の生徒の家庭を訪問した。蓑輪課長らは両親に対し、「これからの勉強と、福井での生活は県が支援します。心配しないで」と説明した。

昨年2月に現地で手配した日本語講師による日本語授業を開始しており、今後は県介護福祉士会から介護技術の授業を担当する講師を派遣する予定だ。



22日、タイ西部バーンカオで、日本での就労を目指す生徒と家族に福井県について説明する蓑輪課長（左）

<https://www.yomiuri.co.jp/local/fukui/news/20220330-OYTNT50112/>

タイから初の介護実習生 人手不足解消へ 県社協などの受け入れ事業

2022/4/12

人手が不足している介護現場を支えるため、県と県社会福祉協議会（**県社協**）が二〇二〇年度から進めている**タイからの技能実習生受け入れ事業**で、初の実習生として六人が来県した。十一日には福井市光陽二の県社会福祉センターで受け入れ式が行われ、介護関係者が歓迎と期待の言葉を述べた。

県高齢者福祉計画では今後の高齢化に伴い、二五年度までは新たに**年間二百人の介護人材が必要**と試算。うち**七十人を外国人材で補う**ことを検討している。この事業では、**県社協が技能実習生制度の監理団体**となり、実習生と受け入れ先の法人を支援。県社協が監理団体となるのは**兵庫県社協に次いで全国で二例目**という。



受け入れ式であいさつする技能実習生たち＝福井市の県社会福祉センターで